
カケラ

NaTSuMe

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

力ケラ

【Zコード】

Z3232C

【作者名】

NaTsuMe

【あらすじ】

少女・ユラはある日、旅に出ることを決意するが大反対を受ける。幼なじみのルウが同行の下ならと許可を得て、半ば強引に家を飛び出す。それから数日、森でカイという美少年に出会い…。

Story · o プロローグ

暗い森の中、逃げ惑う1人の少女がいた。

この日は朝から曇りで、昼からは雨が振り、夜はその雨がどしゃ降りに変わっていた。

深夜、その雨は変わらず振り注いで月など見えるはずはない。

そんな状況では足場はもはや、どこに何があるのかすら分からない。

「はあはあはあはあ……」

余程走つて来たのか、息はかなり上がっている。

「なんで……なんで……」

先ほどから小さく呟いては、涙を拭う。
しかし命運は尽きた。

涙で余計に見えなくなり、とうとうひたすらまづき転んでしまった。

「あああー！」

少女は甲高く悲鳴をあげた。

今まで少女を追いかけていた、黒く人より一回りは団体のデカイものが、その声に反応する。

その黒いものは、鼻が利くのか目が見えるのか、ゆっくりだが確實に、少女に近づいていく。

「…………謎の物体に殺されるなんて…惨めな終わりかた」

半ばやけになつた少女は、恐怖心がなくなつたのか諦め、地べたに寝転ぶ。長いサラサラの髪は雨と汗でぐつしょりだ。

「つたく、アイツは何やつてんのよ。途中ではぐれやがつて！」

誰かと一緒にいたのだろう。“アイツ”に怒りをぶつけてから、目をきつく閉じた。

その間にも黒いものは少女との距離を縮める。

『ガサガサ、ガサッ！』

団体のデカイそいつは木の葉を押し退け……。

『ブンッ！』

太い腕を少女目がけて振り下ろした。

『ドス…』

鈍い音が響く。

しかし少女には何の変化もなし。

「あ……れ……？」

何が何だか分からず、目を開ける。が、何も見えない。

『ドスッ！』

「ひやあ……」

左の横腹の近く、何かが刺さった。

すぐ動こうとしたが、服も一緒に刺されたらしく身動きがとれない。

「動くな

低く澄んだ男の声が聞こえた。

その時なぜか雨が上がり、雲の切れ間に月が顔を出す。

「だれ……？」

少女のすぐ傍には、金髪の長身の男が立っていた……。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3232c/>

カケラ

2010年10月15日00時09分発行